

1 市の概要

人口	408,970 人
保護率	1.55 %

2 支援状況調査（H30年度）

新規相談受付件数人口10万人当 (件) 一月当たり	10.1
プラン作成件数人口10万人当(件) 一月当たり	3.2
就労支援対象者数人口10万人当 (件) 一月当たり	1.2
就労・増収率(%)	38.3

3 実施方法について

実施方法	委託（単年度随意契約）
事業費	15,265千円（平成30年度）
理由 (委託)	○これまでに、学習支援や子どもに社会経験を培うよう支援してきた実績があり、かつ生活困窮世帯や生活保護世帯の家庭環境を理解し、保護者に対し進学などの相談支援をすることができると考えられるため。
事業概要	○生活保護受給世帯及び就学援助受給世帯の小中学生・高校生に対し、貧困の連鎖を断ち切り、健全な育成と自己肯定感をはぐくむため、これまでに実績のあるNPO法人等に委託して学習支援等を実施。 ○平成30年度からは、生活保護受給世帯の高校中退・未進学の高校生相当年齢の者も対象とする。 ○学習だけでなく、調理体験や社会見学、ピアノやそろばんなどの活動も実施し、将来の職業選択の幅を広げ、自立した生活が送れるよう支援。
その他 特記事項	○各教室を運営するNPO法人等が集まって一般社団法人を設立しており、ネットワーク化をしている。 子どもの多少により、スタッフ間で情報を共有しているほか、スタッフ研修を合同で開催。

4 事業実績（H30年度）

教室数	開催回数	参加者数		
		小・中学生	高校生	その他
7	473回	99人（生活保護39人、生活困窮60人）	21人（生活保護14人、生活困窮7人）	1人（生活保護1人）

5 事業実施のポイント ～ネットワーク方式～

●「スタッフの確保が難しい」、「子どもが集まらない」、「子どもの抱える生活課題への対応が難しい」など、1つの小さな教室では対応困難なことを、ネットワーク全体で情報を共有することでスタッフの調整や他の教室に子どもを案内するほか、合同でスタッフ研修を実施し、教えるスキルの向上と子どもの生活環境を理解した上での対応スキルの向上などを図っている。



子ども・保護者の声

- 勉強ができなくても叱られない。ここではわかるまで教えてくれて楽しい。
- 唯一、自分が安心していられる場所が学習室です。
- 家では勉強しないのに、学習室に行くのが楽しいといって出かけていく。

6 取り組んで良かったこと

- 人前では話せなかった子が自信が付き、大きな声で発表できるようになった、分からなかったことが分かるようになったなど、子どもの自己肯定感が育まれていることがわかる。
- 教室に参加している生徒の高校進学率は100%。